

## 愛川町広報板にポスター掲示依頼

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井一海尉）は、7月21日（火）、愛川町区長会に参加し、愛川町に対するポスター掲示を依頼した。

この件は、今年度の委嘱式において、広報掲示板にポスターを掲示させていただきたいと依頼したものである。いろいろな質問があったが、「至誠にして動かざるは未だ之あらざるなり」の精神で説得することにより、各区で可能な限り掲示していただけたこととなった。愛川町掲示板の使用が許可されたことにより、厚木募集案内所管内でポスター掲示ができない一部の自治体を除き、今後も担当全市町村でポスター掲示ができるよう働きかけを進めていく。

厚木募集案内所は、「今後も、あらゆる機会を見逃さず、案内所の施策を発信していくことにより効果的な広報活動が実施できるよう適進していく」としている。



愛川町区長会の様子

## 海老名市民まつりで自衛隊をPR

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井一海尉）は、7月26日（日）、海老名運動公園において行われた「海老名市民まつり」（主催…海老名市）で募集広報を行った。

広報ブースでは、災害派遣や装備品等の写真パネル及び車両の展示、子供用迷彩服の試着を行い、大いに賑わっていた。

厚木募集案内所は、「今後も、このようなイベント等に積極的に参加し、地域に根差した広報活動を通して、自衛隊への理解や関心を深めてもらえるよう努めていく」としている。



広報ブースの様子

## インターンシップを支援

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長大里3海佐）は、7月22日（水）、横須賀地域事務所管内の高校生15名に対し、横須賀地方総監部募集支援係の協力を得てインターンシップを支援した。

当日は絶好の天気にも恵まれ少し動くだけでも額に汗するほどであったが、参加者は岸壁に停泊していた護衛艦いずもの大きさに感激し、また予定されていた組みひも作り、艦艇見学、体験喫食、タグボートでの港内クルーズ等、暑さにめげず楽しんでいった。

参加者に対して、職場としての海上自衛隊の仕事を理解できるよう現役自衛官から丁寧な説明があったため、将来の仕事として自衛官を考えている生徒たちからは質問が多く飛び交った。

横須賀地域事務所は、「今後も、インターンシップを通じて自衛隊について知っていただき自衛官という職業への理解が深まるよう期待し、積極的に支援していく」としている。



護衛艦いずもの説明を受けている様子